

でも、英語の世界では、“y” は「イ」という母音ではないのだ! (“y” と “i” は別物!)
だからこれは “an” じゃなくて “a” を付けるのが正解。

year の他にも、yellow umbrella とか、“y” の前に “an” を付けてしまわないように気をつけてね!

3 名詞だけど “a” や “an” を付けない例

① 名詞が「複数形」の時。

“a” や “an” は、単語の意味としては「1 つの、1 人の」という意味なので、books や apples など “s” や “es” が付いて「複数形(=その物が 2 つ以上あることを表す)」になっている名詞に “a” や “an” を付けることは、思いっきり矛盾します。

× a books

× an apples

…うーん矛盾。すごく矛盾。1 つなの? 1 つじゃないの? どっち?? 頭が混乱する—(@▽@)
読む人を混乱させないように、複数形の名詞に a や an は付けないでね。

② “my” “your” “his” “her” などが付いた名詞。

つまり、“I – my – me – mine” “you – your – you – yours” などの「2 番目の語」=私の、あなたの、など「~の」という意味の語、です。(これらを文法用語では「代名詞の所有格」といいます。)

これらの語は、“a” や “an”(ついでに “the” も)と一緒に使わないことになっています。そういうルールなのでしょうがない。一緒に使うのはやめましょう。

③ “this” “that” “these” “those” が付いた名詞。

これらも②と同じで、“a” や “an”、“the” と一緒に使わないことになっています。そういうルールなのでしょうがない。以下同文。

ちなみに、“these” “those” は「複数形の名詞」に付ける語なので(それぞれの意味は調べてみてね)、その点でも “a” や “an” と一緒に使うことは不可能です。

④ 名詞が「数えられない名詞」の時。

「数えられない名詞」とは? 例をあげます。

water milk bread chalk music money など。